

広島大学かなた望遠鏡について

2013-01-25

広島大学・宇宙科学センター

センター長：吉田道利



広島大学



- 2004年に設立
- 初代センター長：大杉節
- 研究設備：1.5m光学赤外線望遠鏡「かなた」
(2006年国立天文台より移設)
- スタッフ 9名
 - 教授1、准教授3、特任教授2、特任助教3
- 3部門
 - 光赤外線天文学部門：かなた望遠鏡の運用
 - 高エネルギー天文学部門：フェルミ衛星の運用
 - 理論天文学研究部門：理論シミュレーション研究

広島大学 東広島天文台



東広島市南東
福成寺裏

東広島駅から車で10分



大学院生がほぼ毎晩通い、
観測スタンバイ



広島大学

東広島天文台



広島大学・宇宙科学センター所属
2006年建設
1.5mかなた望遠鏡





広島大学

かなた望遠鏡

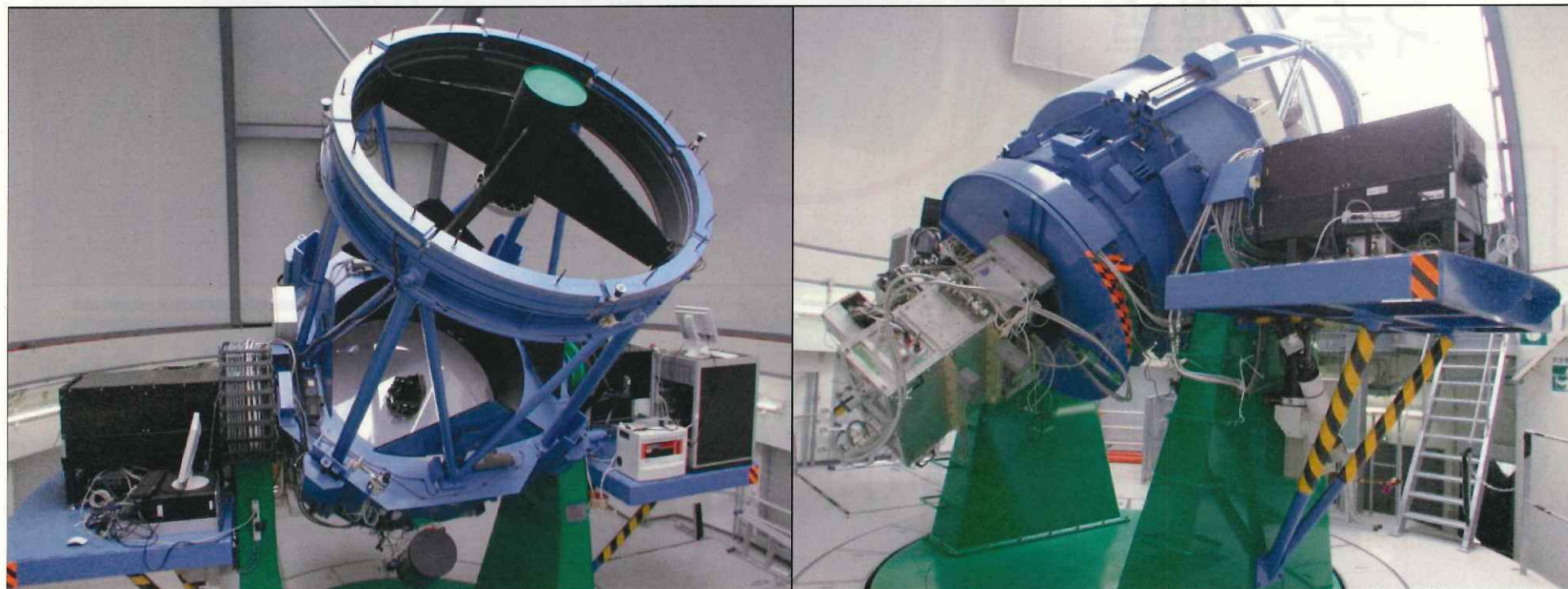


主鏡直径: 1.5m

本当の建設時期: 1996年

もともとは国立天文台(東京三鷹(みたか))にあり、8.2mすばる望遠鏡の観測装置実験のために使われていた

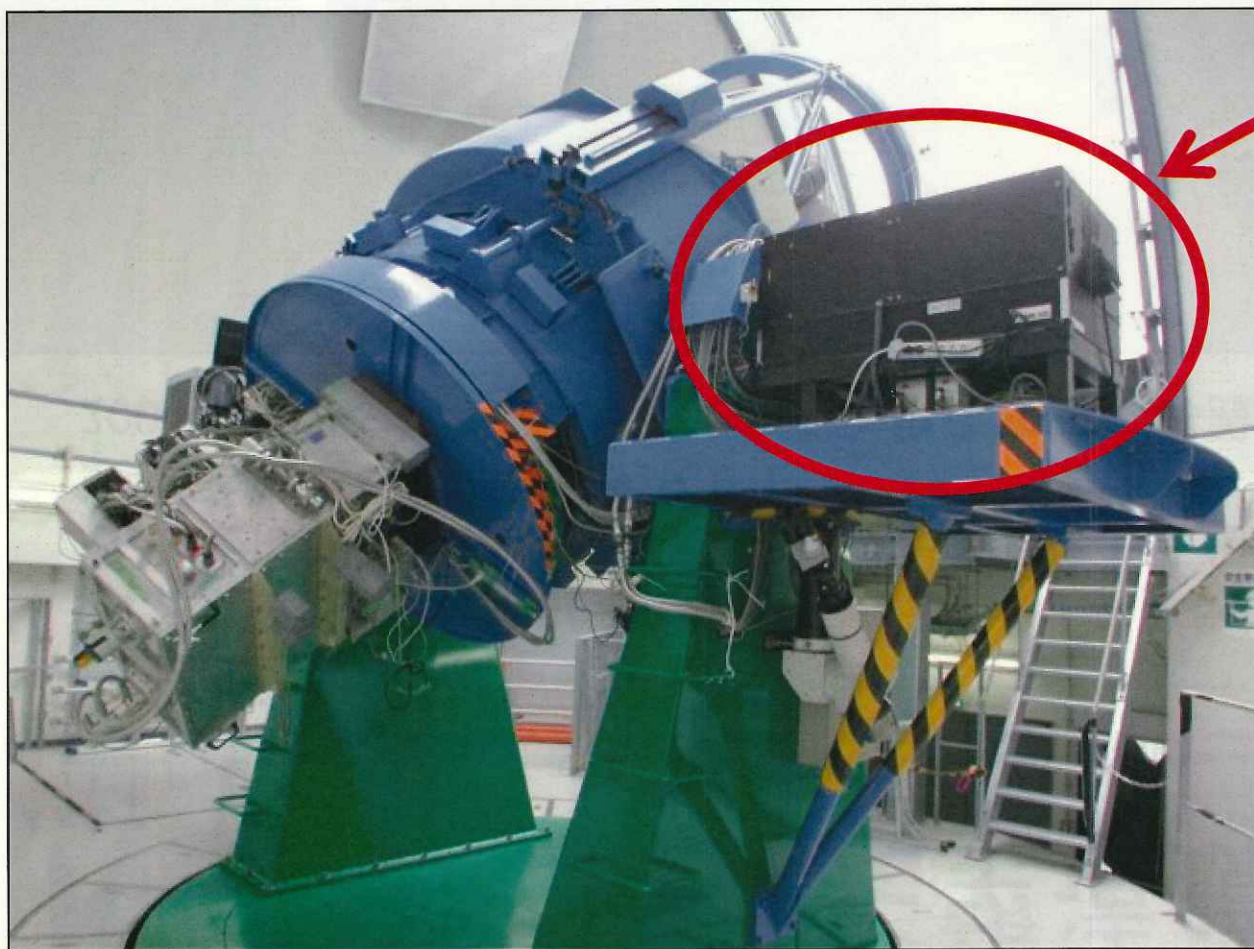
2004年・広島大学に移管。2006年に東広島市に移設





広島大学

今回用いた観測装置



高速分光器

京都大学と
広島大学の
共同開発

高速シャッター
(1/30秒)機能